

科目ナンバリング		U-LAS03 10006 SB48										
授業科目名 <英訳>		外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)Ⅰ-E1					担当者所属 職名・氏名		法学研究科 准教授 音無 知展			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語		日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月4			配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
日本の個人情報保護法制は、アメリカ合衆国の法制度や議論から影響を受けてきた。日本の個人情報保護法制に関する議論を理解する、あるいは、それにとって有益な示唆を得る上で、アメリカ合衆国の法制度に関する知見は有用である。また、アメリカにおける消費者の個人情報の取扱いに関する規制の概要を知っておくことは、将来的に消費者としてのみならず事業者としてアメリカで活動する際に役立つだろう。 本授業では、アメリカのロースクール向けの情報プライバシーに関するケースブックのうち、消費者保護の文脈で扱われるプライバシーに関する章を講読する。英文読解力を養うほか、身近な事例を通じて連邦取引委員会（FTC）法5条における不公正な個人情報の取扱いについての知見を得ることを目的とする。												
[到達目標]												
・法的文書を含む、専門的な英語文献の読解力を身に着ける。 ・精確な日本語訳ができるように、日本語の表現力を高める。 ・アメリカにおいて広く個人情報の取扱いを規律している連邦取引委員会法5条に関する知見を習得する。												
[授業計画と内容]												
Solove & Schwartz, Information Privacy Law (7th ed., 2021, Aspen)の第9章「Consumer Data」を講読する。												
第1回 イン트로ダクション 指定文献を講読する上で知っておくべき前提知識の提供や、授業の進め方についての説明などを行う。												
第2回～第14回 講読 指定文献を講読していく。事前に、翻訳の担当箇所を受講者に割り当てる予定である。担当箇所の和訳は、事前に電子メールで提出してもらい、その訳文を添削・解説したり、訳文の内容について担当者の理解を問うなどの形で授業を進める。												
《期末試験》												
第15回 フィードバック（具体的方法は別途連絡する）												
[履修要件]												
外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。												
[成績評価の方法・観点]												
平常点評価（授業への参加状況、割当和訳の提出・出来，質疑の受け答え。40％）及び期末試験（60％）を組み合わせる。―――外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)へ続く↓↓↓												

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)

[教科書]

授業に必要な資料はプリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

割り当てられた担当箇所以外も，事前に自分で目を通し，分からない単語等は調べた上で概ね意味を確認しておくこと。授業中又は授業後は、授業で扱った部分の正確な和訳・内容理解をまとめておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

必要な資料及び情報については、Pandaを通じてやりとりします。

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]